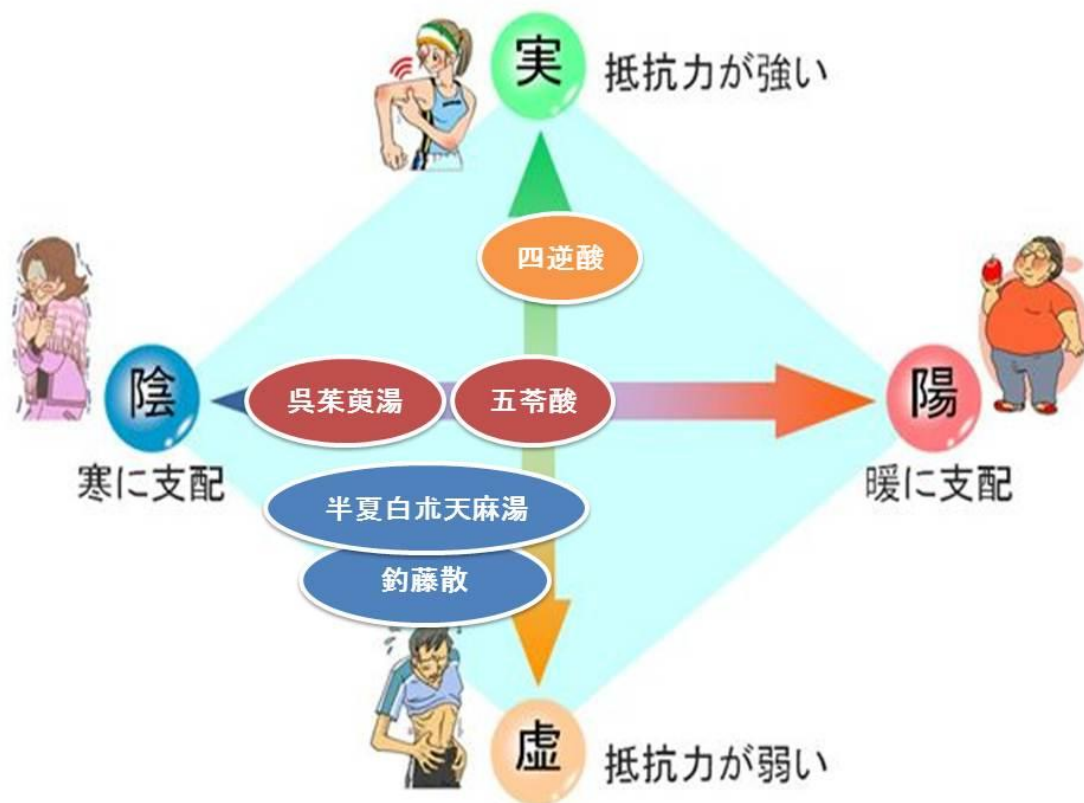


1. 頭痛における漢方薬の使い分け



- 片頭痛には、発作時・間欠期を通じて**五苓散**(ゴレイサン)や**呉茱萸湯**(ゴシュユトウ)
- 緊張型頭痛で、めまい、胃腸虚弱、倦怠感があれば、**半夏白朮天麻湯**(ハンゲビャクジュツテンマトウ)
- 朝方の頭痛、めまい、耳鳴りを訴える高血圧傾向の方には、**釣藤散**(チョウトウサン)、ストレス性には、**四逆散**(シギヤクサン)

その他、漢方医療の適応になるのは、感冒や副鼻腔炎(蓄膿症)、高血圧症、胃腸虚弱や低血圧症、精神的ストレスや自律神経失調症(婦人更年期障害)に伴う頭痛です。

2. 感冒(風邪)や副鼻腔炎に伴う頭痛

感冒に伴う頭痛には桂皮(ケイヒ)や麻黄(マオウ)を含む**麻黄湯**(マオウトウ)や**葛根湯**(カクコントウ)、**小青竜湯**(ショウセイリユウトウ)などの漢方処方を用います。また**川芎茶調散**(センキウウチャチュウサン)という頭痛の専門処方もあります。



ショウセイリュウトウ
小青竜湯
の適応イメージ
感冒食の頭痛、
鼻水、くしゃみ



桂皮

これらの処方は頭痛以外の症状や、感染してからの経過時間、患者さんの体力（胃腸の丈夫さ）などを考慮して選びますので、症状と経過をくわしく話してください。

3. 高血圧傾向の頭痛・頭重感

高血圧に伴う頭痛には、釣藤鈎(チョウトウコウ)や菊花(キクカ)を含む**釣藤散**(チョウトウサン)、黄連(オウレン)や山梔子(サンシシ)を含む**黄連解毒湯**(オウレンゲドクトウ)、大黄(ダイオウ)を含む**大柴胡湯**(ダイサイコトウ)や**桃核承気湯**(トウカクジョウキトウ)など、様々な漢方処方を使い分けます。



チョウトウサン
釣藤散
の適応イメージ
早朝頭痛、耳鳴り、
眼の充血、肩こり



菊花

釣藤鈎



トウカクジョウキトウ
桃核承気湯
の適応イメージ
頭痛、肩こり
冷えのぼせ
(更年期症状)
便秘傾向



大黄

4. 胃腸虚弱に伴う頭痛

比較的体力が低下し、むかつきなどの胃腸症状とめまいを伴う人の頭痛には、人参(ニンジン)と半夏(ハンゲ)、天麻(テンマ)などを含む**半夏白朮天麻湯**(ハンゲビャクジュツテンマトウ)が適します。

二日酔いのむかつきと頭痛には**五苓散**(ゴレイサン)が適します。

5. 冷え症・低血圧に伴う頭痛

比較的体力が低下し、冷え症とむかつきを伴う頭痛には呉茱萸(ゴシュユ)を含む**呉茱萸湯**(ゴシュユトウ)が適します。



貧血傾向の冷え症には当帰(トウキ)、川キュウ(センキュウ)を含む**当帰芍薬散**(トウキシヤクヤクサン) や当帰と呉茱萸を含む**当帰四逆加呉茱萸生姜湯**(トウキシギヤクカゴシュユショウキョウトウ)などを使い分けます。



6. ストレス蓄積状態に伴う頭痛

いわゆる自律神経失調症や不定愁訴症候群に伴う頭痛は、漢方医療の得意とする領域です。

柴胡(サイコ)を含む**加味逍遙散**(カミショウヨウサン)、**柴胡加竜骨牡蛎湯**(サイコカリユウコツボ
レイトウ) などを使い分けます。また気うつ傾向には**香蘇散**(コソウサン)が適します。

発作性の動悸やめまいを伴う頭痛には**苓桂朮甘湯**(リョウケイジュツカントウ)が適します。



カミショウヨウサン
加味逍遙散
の適応イメージ
イライラ、気うつ、
冷えのぼせ
に伴う頭痛



柴胡

7. 医療機関を受診すべき「特別」の頭痛

急いで脳神経外科を受診しなければいけない「特別」の頭痛もあります。下記のような「特別」の頭痛は漢方医療の対象ではありません。できるだけ早く医療機関で相談してください。

- 突然バットで殴られたような激しく異様な頭痛。(くも膜下出血が疑われます)
- 意識がもうろうとなり、ろれつがまわらない頭痛。(脳梗塞などが疑われます)
- けいれんし意識を失うような頭痛。(脳腫瘍などが疑われます)
- 頭を打撲した後、足もとのふらつきを伴うような頭痛。(慢性硬膜下血腫などが疑われます)